

2021 年度数学教育学会夏季研究会（関東エリア）

1. 日程

2021 年 7 月 4 日（日）10：00 - 14：30

2. 会場

Zoom による開催（担当校：群馬大学）

（Zoom への接続は 9：30 以降可能です）

3. 実行委員会

委員長：澤田麻衣子（群馬大学）

委員：松崎昭雄（埼玉大学）、鈴木桜子（元昭和大学）、愛木豊彦（日本女子大学）

4. プログラム

開会の辞

一般発表（午前の部）10：05 - 12：05

10：05

①渡辺 信（生涯学習数学研究所）

「交換法則は成り立つと思う心理的解釈」

10：35

②松野里穂（明治大学大学院生）

佐藤 一（明治大学）

「生物の形についての初歩としての数理 - Sierpinski のギャスケット -」

11：05

③植野義明（東京工芸大学）

「アルベルト・デューラーの『測定法教則』による正多角形の作図」

11：35

④大澤弘典（山形大学）

園部敦子（山形県山形市立千歳小学校）

「ポリアボロの算数教材としての検討 - 学習単元「かたちづくり」の実験授業に向けて -」

一般発表（午後の部） 13：00－14：30

13：00

⑤町田彰一郎（埼玉大学名誉教授）

「科学の言葉＝数学」による「草花とのコミュニケーション」を通して
複雑系社会を体感する試み」

13：30

⑥佐藤陽平（埼玉大学教育学研究科）

「関数電卓使用を前提とした数学問題解決時の解法に基づく問題分類
—米国の標準テスト SAT の The SAT Math Test のサンプル問題を例として—」

14：00

⑦棚澤日菜子（埼玉大学教育学研究科）

「関数電卓使用を前提とする音律を題材とした数学教材開発に向けて
—ピタゴラスの算定法と三分損益法に着目して—」

閉会の辞

※「2021 年度夏季研究会（関東エリア）」は「一般発表」のみのプログラムで実施いたします。